



- (7) 刑の終了日
- (8) 入所度数
- (9) 制限区分及び優遇区分
- (10) 所内における行状の良否
- (11) 住 所

(12) 国 籍

3 推定事故原因

4 事故に対してとった措置

- (1) 令和3年6月16日3時50分、勤務者が非常ベル通報した。
- (2) 同時53分頃、駆け付けた職員が事故者がい首に用いたパジャマ下衣をはさみで切り、事故者を仰がさせた後、事故者に対して心臓マッサージを開始するとともにAEDを使用し、同日午前4時零分、119番通報した。
- (3) 同時16分、119番通報により到着した救急隊が事故者を外部の病院に搬送した。
- (4) 同時30分、同病院医師により事故者の死亡が確認された。
- (5) 同時44分、三重地方検察庁に通報した。

(6)

- (7) において、検事及び三重県警察本部検視官他5名により司法検視が実施され、これと同時に本職が行政検視を実施した。

(8)

5 その他

(1)

- (2) 翌16日午前3時33分頃、事故者は、しており、その際、看守がしているのを確認している。

(3)

- (4) 同日午後8時13分、本件について報道機関に対して公表したところ、9社から取材があり、同日の日刊スポーツインターネット版に記事が掲載された他、翌17日の中日新聞朝刊（三重版）に記事が掲載された。また、同日、東

海テレビの放送した「めざましテレビ」内の東海地方のニュースで本件について放送された。

(5) 当日の三重刑務所の開室人員は637名であった。